

2025年4月7日
西日本旅客鉄道株式会社

阪和線における踏切確認の原因と対策について

2024年12月7日に、阪和線の和泉府中～久米田駅間で発生させた踏切の確認について、原因が判明しましたので対策と合わせてお知らせします。

お客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2024年12月7日（土） 22時10分頃

2 発生場所

阪和線 和泉府中駅～久米田 駅間

踏切名 和泉府中南一（いずみふちゅうみなみいち）踏切（警報機：あり 遮断機：あり）

3 概 況

22時10分頃、大阪指令所の指令員は、モニター画面にて踏切の異常を示す表示を認めました。踏切の確認のため、当該踏切にて速度を落として運転を行なっていましたが、踏切の確認が終了し、運転に支障がないことが確認できたため、23時24分に通常速度で運転を再開しました。

4 列車影響

<運 休>なし

<遅 れ>下り快速電車[天王寺（22時14分）発 東岸和田（22時40分）行]が

51分遅れたのを最大に、計21本（上り8本、下り13本）に遅れ

<影響人員>約4,800人

5 原 因

踏切内の障害物を検知する装置の一部に経年劣化による不具合が発生し、踏切の異常を知らせる信号が常時現示されたためです。

※障害物を検知する装置に不具合が発生した際は、踏切の異常を知らせる信号を常時現示し安全を担保します。

6 対 策

不具合が発生した装置に対し、取替時期を改めるとともに、取替時期が経過した既存の装置に対して順次取替を実施します。